

第九時課（前半）

來れ、我等の王・神に叩拜せん。

來れ、ハリストス我等の王・神に叩拜俯伏せん。

來れ、ハリストス我等の王と神の前に叩拜俯伏せん。

第83聖詠

萬軍の主よ、爾の住所は何ぞ愛すべき。我が靈は厚く慕ひて主の庭を望み、我が心我が身は生活の神に馳す。萬軍の主、我が王、我が神よ、雀も己の宿を獲、燕も己の巢を獲て、雛を爾が祭壇の傍に置く。爾の家に住む者は福なり、彼等は常に爾を讚め揚げん。力を爾に恃み、心の路を爾に向くる人は福なり。彼等は涙の谷を過りて、其中に泉を得、雨は降福にて之を覆う、彼等は力より力に進み、シオンに於て神の前に顯る。主萬軍の神よ、我が禱を聴け、イアコフの神よ、聴き納れ給へ。神、我等を衛る主よ、俯して爾が膏つけられし者の面を視よ。蓋一日爾の庭に在るは千日に勝る、我悪者の幕に住まんよりは、寧神の家の闕の側に居らん。蓋主神は日なり、盾なり、主は恩寵と光榮とを賜ふ、行の玷なき者より幸福を奪はず。萬軍の主よ、爾を恃む人は福なり。

第84聖詠

主よ、爾は已に憐を爾の地に施し、イアコフの俘を歸せり、爾の民の不法を赦し、其凡ての罪を掩ひ、爾が悉くの

忿を罷め、爾が怒の烈しきを除き給へり。我が救の神よ、我等を起し、爾が我等に於ける憤を釋き給へ。豈永く我等を忿り、爾の怒を世世に伸べんとするか、豈新に我等を活かして、爾の民に爾の事を悦ばしめざらんとするか。主よ、爾の憐を我等に顯し、爾の救を我等に施し給へ。我は主神の言はんとする所を聽かん、彼は平安を其民と其選びし者に謂はん、唯願はくは彼等は再無智に陥らざらん。此くの如く彼の救は彼を畏るる者に邇し、光榮の我が地に居らん爲なり。慈憐と眞實と相交り、義と和平と相接吻せん、眞實は地より出で、義は天より臨まん、主は、幸福を與へ、我が地は其果を與へん、義は彼の前に行き、其足を路に立てん。

第85聖詠

主よ、爾の耳を傾けて我に聽き給へ、我乏しくして貧しければなり。我が靈を護れ、我爾の前に慎しめばなり、我が神よ、爾を待める爾の僕を救ひ給へ。主よ、我を憐め、我日に爾に呼べばなり。爾の僕の靈を樂しましめ給へ、主よ、我が靈を爾に擧ぐればなり、蓋主よ、爾は仁慈憐にして、凡そ爾を呼ぶ者に洪恩なり。主よ、我が禱を聽き、我が願の聲を聆き納れ給へ。我が憂の日に爾に呼ぶ、爾我に聽かんとすればなり。主よ、諸神の中爾に如く者なく、爾の作爲に如くはなし。主よ、爾に造られし萬民は來りて爾の前に伏拜し、爾の名を讚榮せん、蓋爾は大にして、奇蹟を行ふ、爾神よ、獨爾なり。主よ、我を爾の路に導き給へ、然せば我爾の眞理に行かん、我が心を爾の名を畏るる畏に固め給へ。主我が神よ、我心を盡して爾を讚美し、永く爾の名を讚榮せん、蓋我に於ける爾の憐は大なり、爾は我が靈を甚と

深き地獄より援け給へり。神よ、驕る者は起ちて我を攻め、暴虐者の黨は我が靈を尋ぬ、彼等は

爾を己の前に置かず。然れども爾主、宏慈にして矜恤、寛忍にして洪恩、眞實なる神よ、我を

顧み、我を憐み、爾の力を爾の僕に賜ひ、爾の婢の子を救ひ給へ。恩の徴を我に顯し給へ、

我を疾む者は之を見て爲に愧を得ん、爾主よ、我を助け、我を慰め給ひしに因る。

恩の徴を我に顯し給へ、我を疾む者は、之を見て爲に愧を得ん、爾主よ、我を助け、我を慰め

給ひしに因る。

光榮は父と子と聖神に歸す、今も何時も世世に、「アミン」。

「アリルイヤ」「アリルイヤ」「アリルイヤ」、神よ、光榮は爾に歸す。三次

主憐めよ。三次

【九時課のトロパリ】第八の調。

第九時に我等の爲に身にて死を嘗めしハリストス神よ、我が肉體の念を殺して、我等を救ひ給へ。

(詠) 繰り返す

司祭第一句 主よ、願はくは我が籲聲は爾が顔の前に遡づかん、爾の言に循ひて我を悟せら給へ。

(詠) 繰り返す

9時課のトロパリ 8調

だい九時に われらの ために
身にて 死をなめし ハリストス 我が かみよ
我が 肉體の念を ころして 我等をすくい たま え

司祭第二句 願はくは我が祷は爾が顔の前に至らん、爾の言に循ひて我を救ひ給へ。

(詠) 繰り返す

右歌ふ毎に我等一次伏拜す。

司祭 光榮は父と子と聖神に歸す。

誦經 今も何時も世世に、「アミン」。

我等の爲に童貞女より生れ、十字架に釘うたるるを忍び、神なるに依りて死にて死を滅し、復活を顯しし仁慈なる主よ、爾の手にて造りし者を棄つる勿れ、慈憐の主よ、爾が人を愛する愛を顯して、我等の爲に祈祷する所の爾を生みし生神女を受け給へ、我が救主よ、望を失へる人人を救ひ給へ。

爾の名に因りて我等を終まで棄つる勿れ、爾の盟約を破る勿れ、爾の憐を我等より除く勿れ、爾が愛する所のアウラアムと、爾の僕イサクと、爾の聖なるイスライリとに因りてなり。

聖なる神、聖なる勇毅、聖なる常生の者よ、我等を憐めよ。三次

光榮は父と子と聖神に歸す、今も何時も世世に、「アミン」。

至聖三者よ、我等を憐め、主よ、我等の罪を潔くせよ、主宰よ、我等の愆を赦せ、聖なる者よ、臨みて我等の病を癒し

給へ、悉く爾の名に因る。

主憐めよ。三次

光榮は父と子と聖神に歸す、今も何時も世世に、「アミン」。

天に在す我等の父よ、願はくは爾の名は聖とせられ、爾の國は來り、爾の旨は天に行はるるが如く地にも行はれん、我が日用の糧を今日我等に與へ給へ、我等に債ある者を我等免すが如く、我等の債を免し給へ、我等を誘に導かず、猶我等を凶悪より救ひ給へ。

司祭 蓋國と權能と光榮は爾父と子と聖神に歸す、今も何時も世世に。

誦經 「アミン」。

盜賊は生命の首が十字架に懸れるを見て曰へり、我等と共に釘うたれし者は、若し身を取りし神に非ずば、日は其光線を隠さず、地も戦ひ慄かざらん、萬の事を忍ぶ主よ、爾の國に於て我を憶ひ給へ。

光榮は父と子と聖神に歸す、

爾の十字架は二人の盜賊の間に在りて義の權衡と爲れり、一人は謗の重きを以て地獄に降され、一人は罪を釋かれ軽くせられて、神學の智識に昇せられて、ハリストス神よ、光榮は爾に歸すと讚揚するを悟れり。

今も何時も世々に、「アミン」。

爾を生みし者は爾 羔にして牧者たる世界の救主が十字架に在るを見て、泣きて曰へり、吾が子吾が神よ、世界は救を獲て喜び、我は爾が衆人の爲に忍びて釘うたるるを見て心を灼けり。

主憐めよ。十二次

何の日の時にも、天にも地にも叩拜讚榮せられ、寛忍、鴻慈、至善にして、義人を愛し、罪人を憐み、來世の福を約して、萬の者を救に招くハリストス神よ、爾主よ、親ら我が此の時の袴をも受け、我等の生命を爾の誠に向はしめ給へ、我等の靈を聖にし、體を潔くし、慮を直くし、思を淨くし、我等を悉くの憂と禍と疾より救ひ、爾の聖なる天使を以て我等を環り、我等が其圍に衛り導かれて、信の一なると爾の近づき難き光榮を悟るに至らせ給へ、蓋爾は世世に崇め讚めらる、「アミン」。

主憐めよ。三次

光榮は父と子と聖神に歸す、今も何時も世世に、「アミン」。

ヘルワイムより尊く、セラフィムに並なく榮え、貞操を壞らずして神言を生みし實の生神女たる爾を崇め讚む。

神父よ、主の名を以て福を降せ。

司祭 神よ、我等に恩を被らせ、我等に福を降し、爾の顔を以て我等を照し、並に我等を憐み給へ。

誦經 「アミン」。

【聖エフレムの祝文】

司祭 主吾が生命の主宰よ、怠惰と、愁悶と、陵駕と、空談の情を我に與ふる母れ。叩拜一次

貞潔と、謙遜と、忍耐と、愛の情を我爾の僕に與へ給へ。叩拜一次

嗚呼主王よ、我に我が罪を見、我が兄弟を議せざるを賜へ、蓋爾は世世に崇め讃めらる「アミン」。叩拜一次

誦經 【祝文】

主宰イイススハリストス吾が神よ、我等の罪を寛忍して、我等を今の時に至らしめ給ひし主よ、昔此の時に生命を施す木に懸りて、善智なる盜賊の爲に天堂の道を啓き、死を以て死を滅し給ひし主よ、我等罪なる爾の當らざる僕を淨め給へ、我等罪を犯し、不法を行ひ、目を擧げて天の高きを見るに堪へざればなり、蓋爾の義の道を離れ、私慾を恣にして日を送れり。主よ、爾の量り難き仁慈に祈る、爾が多く憐に因りて我等を宥め、爾の聖なる名に因りて我等を救ひ給へ、我が日空しく消ゆればなり。我等を敵の手より援け給へ、我等が諸の罪を赦し給へ、我等が肉體の念を殺し給へ、我等舊き人を脱ぎ、新しき人を衣、爾我等の主宰及び恩者の爲に生き、此くの如く爾の誠に遵ひて、悉くの樂しむ者の住所なる永遠の安息に至らん爲なり。蓋ハリストス吾が神よ、爾は實に爾を愛する者の眞の樂と喜なり、我等爾と、爾の無原の父と、至聖至仁生命を施す爾の神とに光榮を歸す、今も何時も世世に、「アミン」。